

心がざわざわする「でんぐりがえし」の教育を、義務教育の中で全ての子どもたちに！  
山口久美

でんぐり返しプロジェクトシリーズが、こんなに長く続いてきたものであることを知りませんでした。知らなかったことを、本当に残念に思います。。。

全ての人に必須の講義に…

当事者のお話を聞くということが、何らかの問題を抱える人たちの立場や気持、状態などを知る上でとても大切なことであるということは、いろいろな当事者の方のお話を聞く中で感じていました。

でも、でんぐり返しプロジェクト誕生の地では、このプロジェクトのための講師の育成を含む国家的なプロジェクトなのですね…。また、ため息が出てしまいます。

この教育を、専門家教育の場ではなく、義務教育の中で全ての子どもたちに保障してほしい！

多様性を知り、社会的に作り出されている問題や弱者がいることを知り、そして、それは、仕方がないこととして見過ごしていいものではなく、みんなで解決していくべき事であり、解決していけるものであるということを、知る権利と義務が、全ての国民にあると思います。

はに先生の研究に大いに期待しています！！

後半戦～えにしにの神髄をみることができるか！？

私は、この講義を受けて、まんまと(笑)ゆきさんの策略にはまり、毎回、心がざわつく思いをしています。

私にとってそのざわざわは、とても心地よい刺激であると同時に、直接知っているわけではないけれど、分野も違うけれど、同じ波…イノベーション…の中にいるという安心感と自信を与えてくれます。

ゆきさんが「えにし」と言っているものの神髄に近づいて行っている気がします。

えにしを結ぶ会から、やねだんにつながり、やねだん故郷創世塾に参加させていただき…実はそこでも、「私もイノベーションの渦の中にいたんだ…」という感動を味わいました。

これまでやってきたことも全てがつながっているということを実感し、全ての出会いに「縁」を感じています。

でんぐり返しプロジェクト後半戦、更にアンテナの感度を磨くべく精進し、えにしにの神髄に触れたい！と思います p(^)q